

イザヤ  
58章11節

主は絶えず、あなたを導いて、焼けつく土地でも、あなたの思いを満たし、あなたの骨を強くする。あなたは、潤された園のようになり、水のかれない源のようになる。

なにかに集中していると、時間の経過に気づかず、そのことにどっぷりとひたってしまうことはありませんか。好きな友だちと話しているとき、おもしろいアニメ作品や映画を見るとき、スマホで遊ぶときなどです。それでは、祈るときに、時間がたったことに気づかないほどひたるならばどうなるのでしょうか。

聖書のレムナントは、みんな神様のみことばを握ってささげる祈りのたのしさにどっぷりとひたっていました。一度はじめたら、時間がたったことも気づかずに祈りにひたっていたのです。このように祈りに集中する人は、霊的な力が回復します。いったいどのようにすれば、祈りに集中することができるのでしょうか。

私の好きなこと、うまくできること、したいことを祈りにつなげましょう。たとえば、スポーツが好きならば、スポーツと祈りをつなげるのです。ピアノ、絵など、私の趣味や特技を祈りとつなげても良いでしょう。それとともに、祈りやすい私だけの時間と場所を見つけましょう。朝の時間が眠いなら、おもに夕方の時間を利用して祈るのもよいでしょう。

今日から祈りにどっぷりとひたる集中の力に挑戦しましょう。私だけの集中の方法を通して回復する霊的な力で、まわりを生かして、世界を生かすようになるでしょう。

## きょうのみことば

## きょうのいのり

神様、ありがとうございます。祈りにどっぷりとひたって集中の力でいっぱいになりますように。その力でまわりと世界を生かすように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



書いてみよう

いの祈るときに受ける集中の力と、神様の働きのみことばを聖書から見つけて、書きましょう。

イザヤ  
58章8節のみことばイザヤ  
58章14節のみことば

## きょうのでんどう

あひと  
会う人じゅんび  
準備する資料

1 サムエル  
3章 1～21節

サムエルは成長した。主は彼とともにおられ、彼のこころを一つも地に落とされなかった。こうして全イスラエルは、ダンからベエル・シェバまで、サムエルが主の預言者に任じられたことを知った。(19-20)

新しい靴をはいている友だちや、すてきな服を着ている友だちをうらやましく思ったことはありませんか。そのような気持ちのために、しっとしたり、ねたんだりしながら、陰口を言ったり、なかまはずれにしたりする友だちもいます。ゲームで競い合う友だちもいるでしょう。このような戦いは、すべて肉体的な戦いです。私たちは肉体的な戦いをする過去の枠を壊して、新しい枠を作らなければなりません。

サムエルの子どもころも、怒りと戦いでいっぱいになった時代でした。お互いに競争して戦って、戦争が絶えませんでした。神様のみこころを伝えなければならぬ祭司長にみこころがなくて、その家族も堕落してほろびの道を歩いていました。そのとき、サムエルは契約の箱のそばで、神様と同行する人生を味わっていました。いつも祈りと礼拝をささげながら、神様とともにいて、神様の御声を聞いて伝える伝道者の生活を味わっていました。

私たちも福音の契約を握って、世界を生かす伝道と宣教のビジョンを夢見るレムナントになりましょう。サムエルのように、現場の流れを変える神の子どもの身分と権威を味わうようになるでしょう。



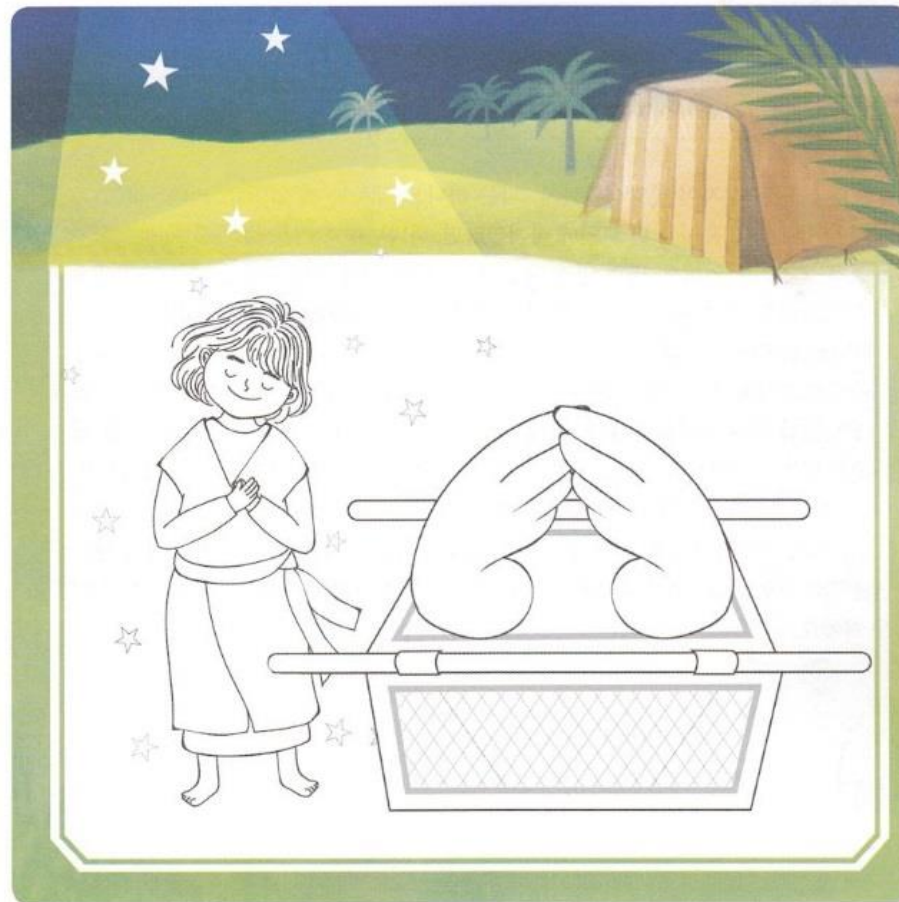
## きょうのみことば

## きょうのいのり

神様、ありがとうございます。きょうも現場でこの世の古い枠を壊して、神様がくださった新しい枠を作る答えを確認する目を与えてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

いろ  
色をぬろう

子どものサムエルが生きていた時代の絵を完成させましょう。  
いま、私にくださっている神様の新しい枠を考えて、確認しましょう



## きょうのでんどう

あ、ひと  
会う人じゅんび  
準備する資料

# 29

すいようび

## わたしこそが れいてきサミット

創世記  
41章 38～43節

そこでパロは家臣たちに言った。「神の霊の宿っているこのような人を、ほかに見つけることができようか。」(38)

勉強やスポーツが苦手で、信仰生活もうまくいなくて「私は一つもうまくできません」と言って、落ち込む友だちがいます。このような悩みがあるなら、神様が私たちを3つのサミットとして呼ばれたことを覚えましょう。それは、霊的サミット、技能サミット、文化サミットです。そのうち最も重要で、私たちが先に備えなければならぬことは、パロ王に会ったヨセフが持っていたものと同じ、霊的サミットです。

サミットとは、山頂のようなてっぺん、または最も責任のある人々の集いのことを言います。神様は私たちにサミットという最も高いところ、そして、最も責任のある重要な座を約束してくださいました。この座には神様に会った人だけが行くことができます。神様を知らない友だちに、イエス様を紹介して受け入れるように導くのは、神様に会う道を知らせるためにです。先に神様に会った私たちは、礼拝と祈りができる、最も責任のある重要な座にすでにいるのです。

今日から礼拝の座を絶対にのがさないようにしましょう。また、毎日祈りの座に進んで、神様に会いましょう。霊的サミットの座を通して技能サミット、文化サミットの座へと到達しているでしょう。

きょうのみことば

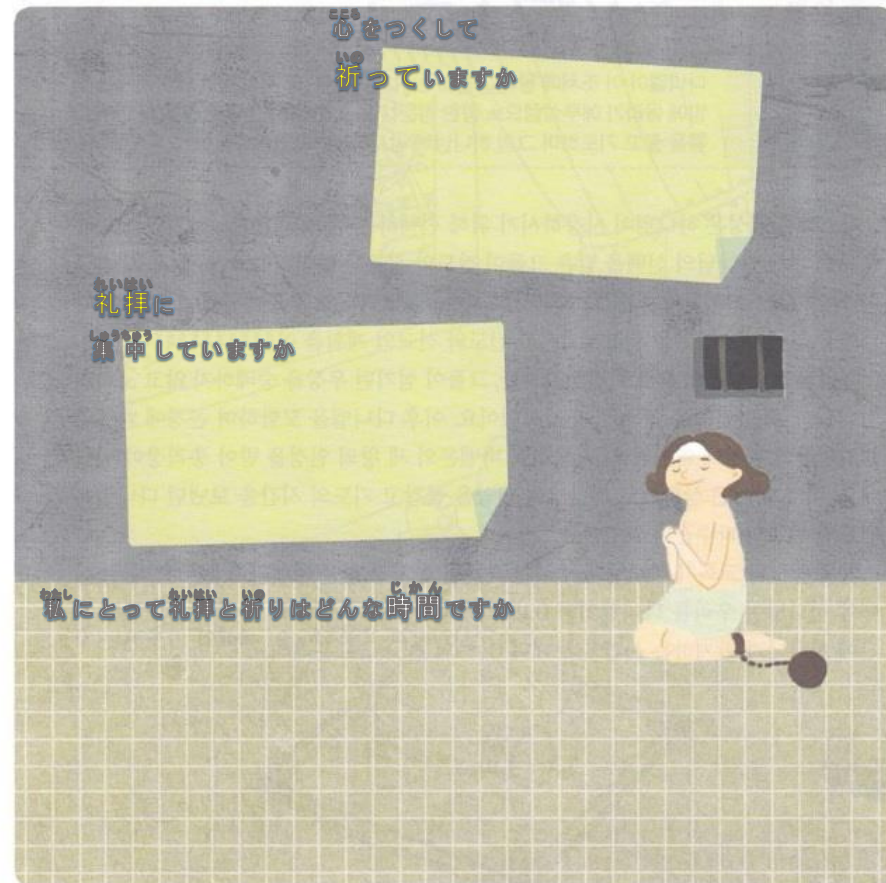
きょうのいのり

神様、ありがとうございます。霊的サミットの座にすることができますように。そして、ヨセフのように王の前に立つことができるように、霊的な準備をはじめさせてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



霊的サミットのための力は礼拝と祈りにあります。

どんな状況であっても礼拝と祈りをささげたヨセフを見て、私の礼拝と祈りの姿はどうなのかを書いてみましょう。



きょうのでんどう

あひと  
会う人

じゅんび  
準備する資料

30

もくようび

## 0.1%のひと、0.1%のでんどうしゃ

ダニエル  
6章1～10節

ダニエルは、その文書の署名がされたことを知って自分の家に帰った。——彼の屋上の部屋の窓はエルサレムに向かってあいていた。——彼は、いつものように、日に三度、ひざまずき、彼の神の前に祈り、感謝していた。（10）

イスラエルの民は、神様が用いるために選ばれた民族でした。世界福音化のために神様に選ばれたのですが、福音と伝道と宣教をなくしたので、奴隷、捕虜、属国になりました。そのとき、神様は0.1%の人、レムナントダニエルを準備されました。ダニエルを通してイスラエルに福音を回復させて、伝道と宣教の計画を成し遂げられました。

ダニエルはバビロンの捕虜として捕まえられていたのですが、バビロンの人々が仕えていた偶像を崇拝することなく、むしろ神様から与えられた契約をより一層、深く大事に心に持ち続けました。ダニエルを陥れようとした政治家たちの陰謀に屈することなく、バビロンの三人の王に認められる大臣の長になりました。

このように、どんな状況であっても神様の契約を握って祈りの時間を過ごしていたダニエルは、伝道と宣教の見張り人になりました。多くの信徒と教会が、神様から与えられた祝福をのがして、力を失っています。このような時代に、神様は私たちをダニエルのように0.1%の人として呼ばれました。礼拝の時間と祈る時間に、神様がともにおられる時間を味わう0.1%の伝道者として準備しましょう。



このみことば



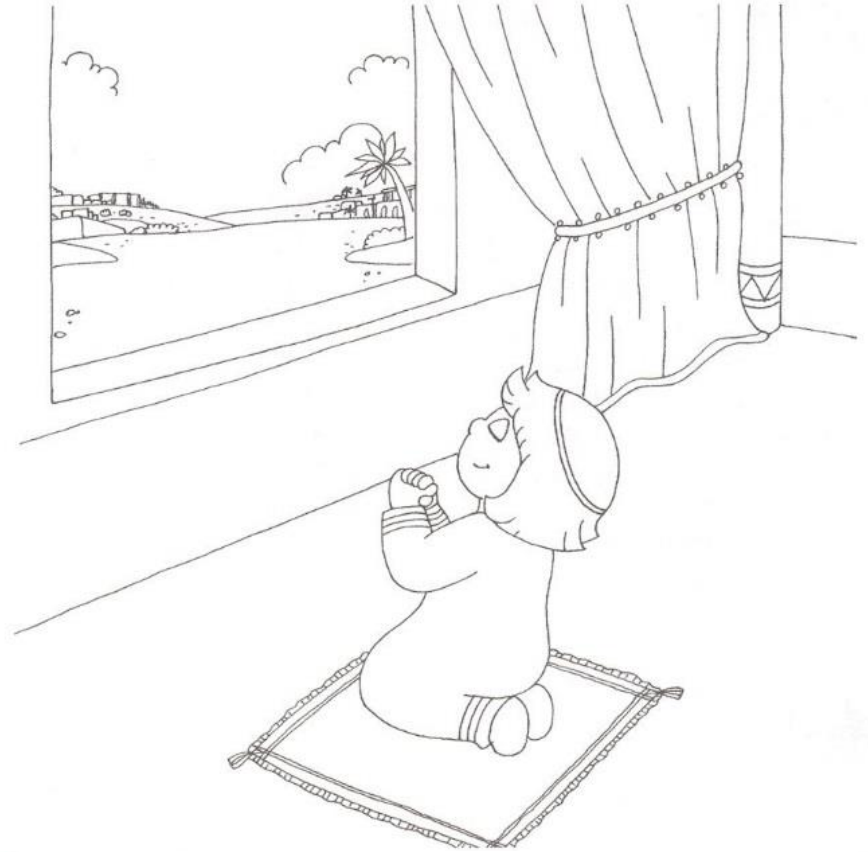
このいのり

神様、ありがとうございます。ダニエルのように0.1%の答えを味わうことができますように。いつも祈るレムナントとならせてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



色をぬろう

政治家の陰謀を知っても、神様にささげる礼拝と祈りの時間をのがさなかったダニエルの姿です。絵に色をぬって完成させてダニエルのように0.1%の伝道者になるように祈りましょう。



このでんどう

あひと  
会う人じゅんび  
準備する資料

## ヨケベデの けつだん

しゅつ  
出エジプト  
29章1～10節

その子<sup>こ</sup>が大きくな<sup>お</sup>ったとき、女<sup>おんな</sup>はその子<sup>こ</sup>をパロの娘<sup>むすめ</sup>のもとに連れて行<sup>い</sup>った。  
その子<sup>こ</sup>は王女<sup>おうじょ</sup>の息子<sup>むすこ</sup>になった。彼女<sup>かのじょ</sup>はその子<sup>こ</sup>をモーセと名<sup>な</sup>づけた。彼女は、  
「水<sup>みづ</sup>の中<sup>なか</sup>から、私<sup>わたし</sup>がその子<sup>こ</sup>を引き出<sup>ひ</sup>したのです」と言<sup>い</sup>ったからである。(10)

世<sup>よ</sup>の中<sup>なか</sup>を征服<sup>せいふく</sup>して治<sup>おさ</sup>めるはずのイスラエルの民<sup>たみ</sup>が奴隷<sup>どれい</sup>になって、偶像<sup>くうざう</sup>を作る仕事<sup>しごと</sup>に動員<sup>どういん</sup>されました。さらにイスラエルの民<sup>たみ</sup>が強<sup>つよ</sup>くなるのを防<sup>ふ</sup>ぐため、生まれ子<sup>な</sup>どもが男<sup>おとこ</sup>の子<sup>こ</sup>ならばすぐ<sup>さ</sup>に殺<sup>ころ</sup>せという命<sup>めい</sup>令<sup>れい</sup>も出<sup>だ</sup>されました。このような時<sup>とき</sup>にヨケベデは息子<sup>むすこ</sup>モーセを産<sup>う</sup>んだのです。エジプト王<sup>おう</sup>の命<sup>めい</sup>令<sup>れい</sup>によってイスラエルの民<sup>たみ</sup>の息子<sup>むすこ</sup>であるモーセは殺<sup>ころ</sup>されなければならない運命<sup>うんめい</sup>に置<sup>お</sup>かれていました。ですからヨケベデは息子<sup>むすこ</sup>を生<sup>い</sup>かすために、パピルス製<sup>せい</sup>のかごにモーセを入<sup>い</sup>れてナイル川<sup>がわ</sup>に流<sup>なが</sup>したのです。その後<sup>あと</sup>、エジプトの王女<sup>おうじょ</sup>がパピルス製<sup>せい</sup>のかごの中<sup>なか</sup>にいるモーセを発見<sup>はっけん</sup>します。彼女<sup>かのじょ</sup>はモーセを生<sup>い</sup>かし育て、のちにモーセはイスラエルを出<sup>しゅつ</sup>エジプトさせる指導<sup>しどう</sup>者<sup>しや</sup>へと成<sup>せい</sup>長<sup>ちやう</sup>しました。ヨケベデの小<sup>せ</sup>さな行<sup>こう</sup>動<sup>どう</sup>は、死<sup>し</sup>の枠<sup>わく</sup>を壊<sup>こわ</sup>して伝道<sup>でんどう</sup>と宣教<sup>せんきやう</sup>の枠<sup>わく</sup>を整<sup>ととの</sup>える重<sup>じゆう</sup>要<sup>やう</sup>な事件<sup>じけん</sup>になりました。

教会<sup>きやうかい</sup>、家庭<sup>かてい</sup>、学校<sup>がっこう</sup>には、私<sup>わたし</sup>たちを閉<sup>わ</sup>じ込<sup>こ</sup>めている枠<sup>わく</sup>がたくさんあります。しかし、小<sup>せ</sup>さな信仰<sup>しんこう</sup>の行<sup>こう</sup>動<sup>どう</sup>を決断<sup>けつだん</sup>するとき、奴隷<sup>どれい</sup>の枠<sup>わく</sup>は壊<sup>こわ</sup>れて、再創造<sup>さいそうぞう</sup>の働<sup>はたら</sup>きが始<sup>はじ</sup>まるでしょう。ヨケベデのように、神様<sup>かみさま</sup>が願<sup>ねが</sup>われる信仰<sup>しんこう</sup>の決断<sup>けつだん</sup>ができるように導<sup>みちび</sup>いてくださ<sup>い</sup>いと祈<sup>いの</sup>りましょ。う。

## ようのみことば



## ようのいのり

かみさま  
神様、ありがとうございます。霊<sup>れい</sup>的な目<sup>め</sup>で見て私<sup>わたし</sup>たちを閉<sup>こ</sup>じ込<sup>こ</sup>めている枠<sup>わく</sup>を壊<sup>こわ</sup>したヨケベデと同じ信仰<sup>しんこう</sup>の決断<sup>けつだん</sup>をすることができましょ。うに。生きておられるイエス・キリストのお名前<sup>なまえ</sup>によってお祈<sup>いの</sup>りします。アーメン



みことばを  
てきよう  
適用<sup>てきよう</sup>しよう

ヨケベデのように、信仰<sup>しんこう</sup>の決断<sup>けつだん</sup>をした友<sup>とも</sup>だちを描<sup>えが</sup>いた絵<sup>え</sup>があります。  
つぎ  
次のページ<sup>つぎ</sup>から合う絵<sup>え</sup>を切り抜<sup>ぬ</sup>いてはしましょ。う。  
わだし  
私<sup>わたし</sup>はどんな決断<sup>けつだん</sup>をすの<sup>か</sup>を考<sup>かんが</sup>えましょ。う。



## きようのでんどう

あひと  
会<sup>あ</sup>う人<sup>ひと</sup>じゆんび  
準備<sup>しりよう</sup>する資料



# 01

どうぶ

## ちいさな けんしんが おおきな こたえに

### 出エジプト 60章1～3節

モーセは、イスラエル全体の中から力のある人々を選び、千人の長、百人の長、五十人の長、十人の長として、民のかしらに任じた。

土の中に埋めた小さな種は、時が経ち大きな実を結ぶように、私たちの小さな献身はいのちを生かす大きな答えを結ぶということを知っていますか。イスラエルの民を出エジプトするように導いた指導者、レムナントモーセを助けたイテロ長老の話は、その証拠です。

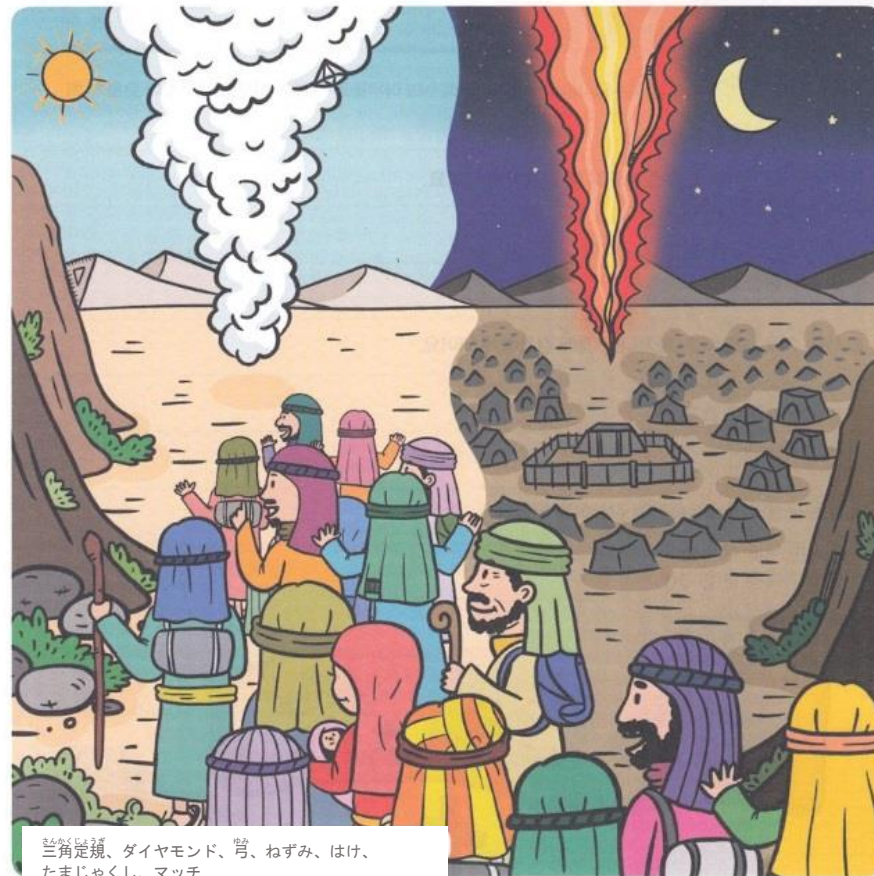
モーセは王宮で育った王子でしたが、イスラエルの民を苦しめるエジプト人を殺したことによって、逃亡者の身分になりました。そのときイテロ長老は、イスラエルの民が福音をなくして奴隷になったことと、全世界に偶像を伝えるエジプトの影響を知っていました。そこで、モーセを婿として迎える献身をしました。モーセがイスラエルの民を連れて紅海を渡り、荒野で雲の柱と火の柱で神様に守られていたとき、イテロ長老の小さな献身がまた発揮されます。モーセを助けてイスラエルの民千人を率いる千人の長、百人を率いる百人の長、五十人を率いる五十人の長をたてて契約を伝えるようにしたのです。

イテロ長老のようないのちを生かす小さな献身のための祈りを始めましょう。エジプトと同じ世の中の枠、偶像とわざわざに捕われた現場の枠を変える答えがくるでしょう。



絵を  
みつけよう

指導者モーセについて出てきたイスラエルの民の姿です。イテロ長老の小さな献身によってはじまった神様の働きを黙想しながら、7つの隠れている絵を見つけましょう。



三角屋根、ダイヤモンド、臂、ねずみ、はけ、たまじやくし、マツチ



堂のでんどう

あひと  
会う人

じゅんび  
準備する資料



堂のいのり

神様、ありがとうございます。神様から与えられた契約を握って、偶像とわざわざいの中にある現場を生かす小さな献身をはじめられるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン